
京大上海センターニューズレター

第73号 2005年9月5日

京都大学経済学研究科上海センター

目次

○ 第2回STSフォーラム 公開シンポジウムのご案内

○ 中国河南省農村経済の持続可能な発展の実現に関する一考察

+++++
第2回STSフォーラム 公開シンポジウム「科学技術が拓く人間の未来」のご案内

日時：平成17年9月10日（土）13：30～16：30

会場：京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール

内容：基調講演① 「科学技術教育とメディアエーターの役割」（仮題）

ロバートB・ラフリン 韓国科学技術院総長兼スタンフォード大学教授

基調講演② 「社会の科学技術振興」（仮題）

リヒャルトR・エルンスト スイス連邦工科大学名誉教授

基調講演③ 「科学技術が切り拓く文明と文化」（仮題）

有馬朗人（財）日本科学技術振興財団会長

パネルディスカッション 「科学技術の進歩が拓く人間の未来」（仮題）

主催：第2回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）支援
京都実行委員会（京都府、京都市、京都商議所、京都コンベンションビューロー）

定員：先着500名（参加費無料）

受付：9/7までに氏名、電話番号を記して、電話、FAX又はメールのいずれかで下記までお申し込みください。

TEL 075-414-4850 fax 075-414-4842 E-mail e-nishimura13mail.pref.kyoto.jp

+++++

中国河南省農村経済の持続可能な発展の実現に関する一考察

張 莉（中国河南省 信陽師範大学経済管理学院教授）

中国の「三農」問題は、中国の持続可能な発展を制約するボトルネックである。「三農」問題を解決する核心問題は農業の近代化である。つまり、先端的な農業技術を導入することで、農民の収入増加をもたらすことである。中国のトップリーダーたちは、すでに「三農」問題の解決を最も重要な課題として位置付けた。農業税の減免をはじめ、土地徴用制度の改革、郷鎮政府の構造調整と人員削減、耕作農民への所得補填制度、農業への財政投入の拡大といった一連の政策措置がとられてきた。

河南省は中国農村の典型である。河南省には 7,000 万の農民が生活している。しかし、

中央の政策を有効に実施し、農業の近代化を推し進め、農村経済の持続可能な発展を実現させるには、農村に既存する矛盾や課題を解決しなければならない。今回の報告では、河南省の現状を分析し、どのようにして政府の農業に対する投資を農民の利潤に転ずるのか、どのようにして農村部の余剰労働力を、農民の収入増につなげるのか、といった農村経済における既存の問題について考察した。

具体的には次の課題について検討した。農村人口の増加を抑制し、人々の教育水準を向上させること、都市部と農村部の所得格差を縮小させること、地方の役人の官僚主義的なやり方や腐敗行為をなくし、農村の法制建設を強化し、農民の権限や利益への侵害を防ぐこと、農村の土地所有権制度を改善し、農業の機械化を促進すること、耕地を効率的に利用することで耕地の浪費をなくすこと、保障制度を確立し、土地を失った農民の生活を支え、彼らの生存問題を解決すること、環境汚染対策を強化し、農村部における面源汚染を改善すること。これらの一連の課題を克服して、はじめて中国農村経済の持続可能な発展が実現できるのである。